

NCAチームで受賞

「パレット積み付け部門」で

同競技会は2007年から毎年開催されており、今年5月から成田空港外のIACT物流センター（千葉

県山武郡）でNCAの輸出貨物の一部のビルドアップを受託した経緯から、NCAがIACTに同競技会への参加を打診。NCAの輸

出貨物のビルドアップを担当する社員を選抜した。同競技会にはアジア、欧州、日本の各地域・国から7チームが参加。1チーム

は4人編成。重量物や危険物などを含んだ擬似貨物を所定の位置から運び、パレットに積み付け、ネットィング完了までの一連の作業を競った。

審査は「フォークリフト操作部門」「パレット積み付け部門」に分かれて行われた。各作業の技術、安全性に加え、パレット積み付けでは貨物の積載効率および迅速性の観点からも審査された。IACTの選手団は総合入賞を逃したものの、「パレット積み付け部門」

で個別に二つの賞を獲得。

IACTは、「この結果は、日ごろからNCA社が求める品質の高さが世界でもトップレベルであることが裏付けられたもの。当社としても、日ごろの作業において品質の維持とさらなる向上を目指していく考えを新たにしたい」と語る。

国際空港上屋（IACT）は、香港国際空港で貨物ターミナルを運営する香港エアカーゴターミナルズ（HACTL）主催の「Hactl International Forklift & Pallet Building Competition 2012」に初めて出場した。日本貨物航空（NCA）チームの一員として、IACTの社員4人が参加。「パレット積み付け部門」で、品質と迅速な作業について、個別に2つの賞を受賞した。IACTは今後も作業品質の維持およびさらなる向上を目指していく。



積み付け作業の光景



参加者一団。後列右から3人目がIACTの塚原治代表取締役社長